

脱原発・放射能汚染を考える

自公政権が勝利してもダメなものはない 原発稼働も辺野古基地建設も憲法改悪も軍事力強化も許さない

参議院選挙。マスコミは与党「勝利」を煽るが、改憲勢力は3分の2は維持できず、1人区でも野党共闘が前進して10人が勝利。社民党も得票率2%を確保した。なりふりかまわない「トランプ流」選挙でも得票率は3割程度である。

半導体材料の輸出での韓国叩きで、強い日本の演出！従うことを要求するだけの説明会。「無礼者！」と怪気炎！朝鮮侵略と植民地化の反省のないこの対応！テレビには元官僚の「大学教授」が「これは普通のことです」と説明、そして韓国の「過剰反応」批判ばかり、結果として、世論調査では56%が政府を支持。安倍首相がトランプから学んだのは、選挙の勝利のためにはどんなことでもすること。その授業料が「米軍兵器の爆買」であり、ご褒美がトランプの「選挙が終わるまでは日本への経済要求と交渉内容は公表しない」。全く将来への展望のない術策である。

再稼働反対の闘いが規制の強化に反映

川内原発設置許可取消し行政訴訟で、「噴火をある程度予測し対応できる」ことに対する司法の疑義が表明された。予測して原発を止めて燃料を取り出す具体的方策の「不合理」でないガイドラインの策定が求められている。

また「基準値振動」の計算方法については、美浜の会などから指摘があり、規制委前委員長の島崎邦彦さんも現在の計算方法に疑義を証言していた。今回、規制委の検討委員会が計算方法の見直しを決めた。川内・玄海原発では基準地震動が引き上がり、対策が必要となる。九電は「対策工事に6,7年を超える」と猶予を求めている。危険である事が判明した以上、直ちに停止すべきだ。

玄海原発運転差し止め抗告棄却

九電玄海原発3・4号機の運転差し止めを住民らが求めた仮処分申立てを福岡高裁は7月10日に抗告を棄却した。住民側は「基準地震動が過小評価されている」「阿蘇山の噴火による火砕流が原発の敷地に到達する可能性も、十分小さいとは言えない」と訴えていた。佐賀地裁が1審で「安全性に欠けるところがあるとは認められない」として申立てを却下し、住民側が即時抗告していた。

許されない！ 除染土を農地造成に再利用するという飯館村での実証事業

環境省は2016年6月、膨大な量の福島県内の除染土を減らすため、8千ベクレル以下の除染土を道路などの公共工事で再利用する基本方針を示した。昨年3月に「除去土壌再生利用計画」を策定し、相馬市での「盛り土」、飯館村での「農地再生利用」、二本松市での「道路基礎」を実証すること決めた。環境省は6月3日に、東電福島第1原発事故に伴う除染で生じた土を、園芸作物などを植える農地の造成にも再利用する方針を決めた。



福島県飯館村長泥地区で実証事業

帰還困難区域に指定されている福島県飯館村長泥地区で実証事業を行なっている。村内の除染土のうち1キロ当たり5000ベクレル以下のものを使って280立方メートルの盛り土を造成し、その表面から50センチ分は放射能汚染されていない遮蔽用の土で覆い、バイオマス発電の燃料に使う穀物などを栽培する。試験栽培された作物の放射能濃度などを測り、今年度中に安全性を検証

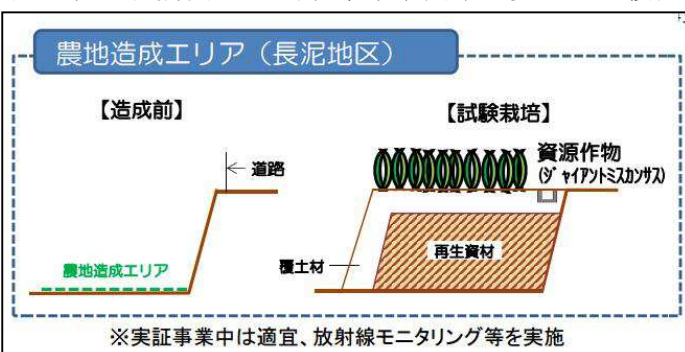
するという。6月から作物の栽培を開始している。環境省は将来的に同地区内の約34ヘクタールの土地に農地を造成する計画である。

飯館村の長泥地区の一部は、帰還困難区域内の避難指示解除に向けた国の「特定復興再生拠点区域」に指定されている。村内には約250万個のフレコンバッグが積み上げられている。飯館村は2023年春の解除を目指して、汚染土を再生利用することでフレコンバッグを減らすためにも事業計画を苦渋の決断で受け入れた。

再生利用計画は福島の新汚染計画だ

何万年も続く放射線汚染土の再利用は汚染を拡大するものであり、地下水を汚染し、住民の健康を破壊していく。たかだか50cmの覆い土で放射線が防御されることはない。計画が持ち込まれた二本松市では住民の反対運動で計画は進んでいない。

福島だけでなく、岩手、宮城、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉の汚染土の再生利用も計画の範囲である。安全だというなら、東京のオリンピック施設や政府機関、東電や電力会社の施設で使用するべきである。既に原発事故で汚染された地域に、復興と引き替えに重ねて汚染の負担を強いることは許されない。



5千ベクレル以下なら追加被曝は年1mSv(シーベルト)以下に収まると言うが、この値はICRPの1990年基本勧告「公衆の線量限度は年間1mSv」であるが、子どもや妊婦を含む一般人の居住空間の基準値ではない。

チェルノブイリ専門家A・ヤブロコフ博士も、「3000ベクレル/m²(⇒50ベクレル/kgに相当)が、究極的には生死にかかわる健康被害の大きな分岐点だと指摘している。

